

建設経済常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	所 管 課
1	経済部所管施設の利用料金に関するアンケートの実施について	農 政 課
2	水産市場再整備基本構想の進捗状況について	水 産 海 浜 課
3	城址公園のこども遊園地の在り方に関する検討状況について	小 田 原 城 総 合 管 理 事 務 所

令和 7年 12月 8日

経済部所管施設の利用料金に関するアンケートの実施について

1 目的

小田原市議会 9 月定例会に提出後撤回した、受益者負担の適正化（利用料金改定）に係る小田原市梅の里センター条例の一部を改正する条例案に対する市議会建設経済常任委員会等の御指摘を踏まえ、今後の施設利用料金の改定等の参考とするため、アンケートを実施する。

2 アンケート対象者及び実施方法

アンケート対象者	配布方法	回答方法	施設名
令和 6 年 1 月 1 日から令和 7 年 12 月 31 日までに利用実績のある団体及び個人	郵送	紙媒体 Web	梅の里センター 曾我みのり館
アンケート実施期間中に利用する団体及び個人	利用時		

3 実施期間

令和 8 年 1 月 4 日から令和 8 年 2 月 3 日まで

4 アンケート案

梅の里センター：参考資料 1-1

曾我みのり館：参考資料 1-2

梅の里センター 利用料金に関するアンケートにご協力ください！

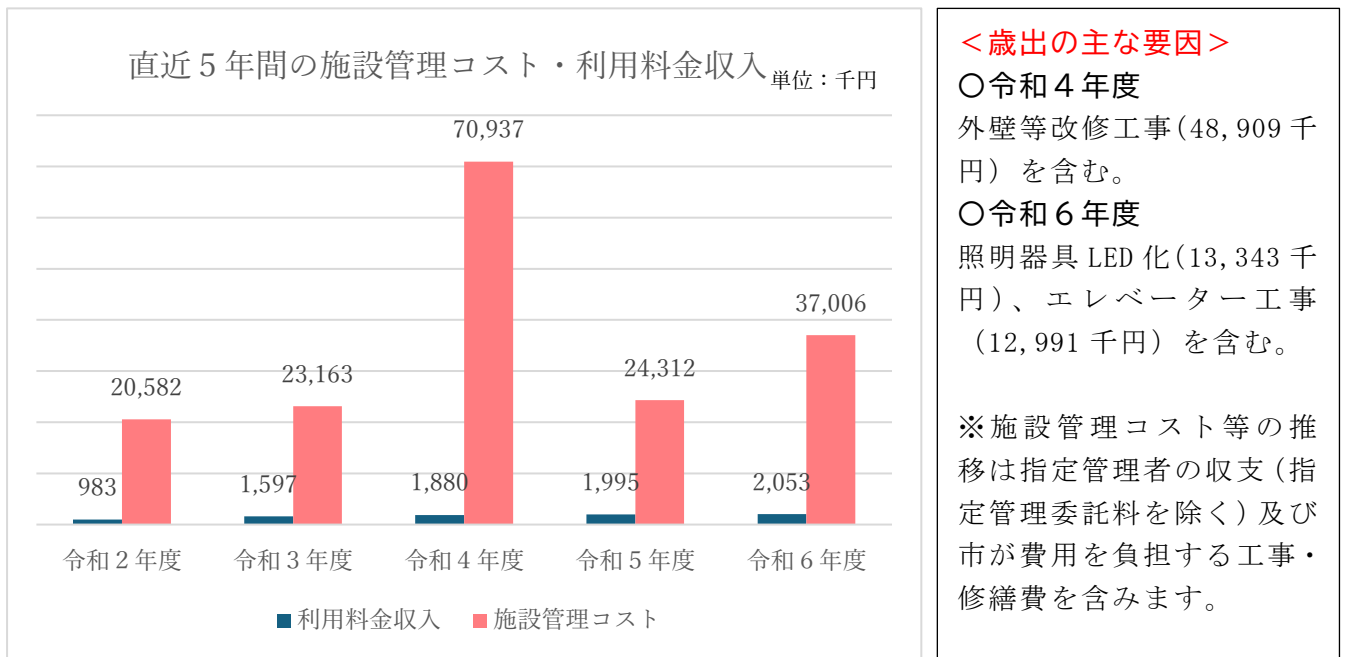
公共施設の維持管理には、光熱水費や人件費、修繕費、設備更新費などの費用がかかりますが、全てを税金だけで賄うことは難しいため、条例で施設利用料金などを定めています。

しかしながら、社会情勢の変化に合わせた、施設利用料金の見直しがされてこなかったことがあり、受益者負担の適正化を図るため、施設利用料金の改定を検討しています。

このことについて、利用者の皆様から幅広いご意見を収集するため、アンケートを実施いたします。

1 施設管理コスト等の推移（直近5年）

梅の里センターの直近5年間の施設管理コスト等は次のとおりです。



(単位：千円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設管理コスト	20,582	23,163	70,937	24,312	37,006
利用料金収入	983	1,597	1,880	1,995	2,053

2 施設利用料金の推移

梅の里センターの施設利用料金の推移は次のとおりです。

(単位：円)

		平成4年7月から 平成9年3月まで	平成9年4月から 平成26年3月まで	平成26年4月から 令和元年9月まで	令和元年10月から 現在まで
会議室A室	午前	300	400	410	410
	午後	400	500	510	510
	夜間	400	500	510	510
会議室B室	午前	400	500	510	510
	午後	500	600	610	620
	夜間	500	600	610	620
A・B室同時使用	午前	700	900	920	920
	午後	900	1,100	1,130	1,130
	夜間	900	1,100	1,130	1,130
和室	午前	400	500	510	510
	午後	500	600	610	620
	夜間	400	600	610	620
体験加工室	午前	1,100	1,300	1,330	1,350
	午後	1,500	1,700	1,740	1,770
	夜間	1,300	1,500	1,540	1,560
大会議室	午前	2,300	2,500	2,570	2,610
	午後	3,100	3,500	3,600	3,660
	夜間	2,700	3,000	3,080	3,130

アンケート回答用
2次元バーコード

お問い合わせ先

小田原市経済部農政課

住所 小田原市荻窪 300 番地

電話番号 0465-33-1494

FAX 0465-33-1286

梅の里センター 利用料金に関するアンケート

設問1 あなたについてお伺いします。

1. 市内の団体（構成員の半数以上が市内在住、在勤または在学）
2. 市外の団体
3. 個人（市内在住）
4. 個人（市外在住）

設問2 ※設問1で「1.市内の団体」または「2.市外の団体」と回答された方にお伺いします。

あなたはどのような団体で当施設を利用していますか？

1. サークル活動団体
2. 非営利団体
3. 営利団体
4. その他（ ）

設問3 ※設問1で「3.個人（市内在住）」または「4.個人（市外在住）」と回答された方にお伺いします。

あなたの年代について教えてください。

1. ～20代
2. 30～40代
3. 50～60代
4. 70代～

設問4 現在、梅の里センターをどのくらいの頻度で利用していますか？

1. 毎週利用している
2. 月に1～3回利用している
3. 年に数回利用している
4. 初めて利用した

設問5 利用目的について教えてください。（複数回答可）

1. 会議・会合
2. スポーツ
3. 健康増進
4. レクリエーション
5. 学習
6. イベント参加
7. その他（ ）

設問6 梅の里センターで提供されるサービスについて、あなたの考えに近いものを選択してください。

1. 満足
2. やや満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満

設問7 梅の里センターの現在の料金設定について、あなたの考えに近いものを選択してください。

1. とても安い
2. 安い
3. 適正
4. 高い
5. とても高い

設問8 利用料金の値上げについて、あなたの考えに近いものを選択してください。

1. 反対
2. 賛成
3. わからない（どちらとも言えない）

設問9 ※設問8で「2.賛成」と回答された方にお伺いします。

(1) そのように感じる理由について教えてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 施設管理コストが増加している | 2. 施設の修繕や設備の更新が必要である |
| 3. 物価が上昇している | 4. 類似施設と比較して安いため |
| 5. その他 (|) |

(2) 利用料金を値上げする場合、必要な対応は何だと思えますか？(複数回答可)

- | | | |
|-------------|---------------------|---|
| 1. 値上げ率を抑える | 2. 施設の利用環境を向上・改善させる | |
| 3. 周知期間を設ける | 4. その他 (|) |

(3) 利用料金を値上げする場合、値上げ率はどの程度なら許容できますか？

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 現行料金の10%以内 | 2. 現行料金の20%以内 | 3. 現行料金の30%以内 |
| 4. 現行料金の40%以内 | 5. 現行料金の50%以内 | 6. 現行料金の50%超 |

設問10 利用料金を値上げした場合、施設の利用頻度はどのように変わりますか？

- | | | |
|--------------|------------------|---|
| 1. 今までと変わらない | 2. 利用頻度を減らして利用する | |
| 3. 今後利用しない | 4. その他 (|) |

設問11 梅の里センターの利用料金を値上げする場合、ご意見などありましたら教えてください。

(記述欄)

設問12 梅の里センターのサービスなどに関して、こうして欲しい・こうなったら良いと思うことがありましたら教えてください。

(記述欄)

アンケートへご協力いただき、ありがとうございました

曾我みのり館 利用料金に関するアンケートにご協力ください！

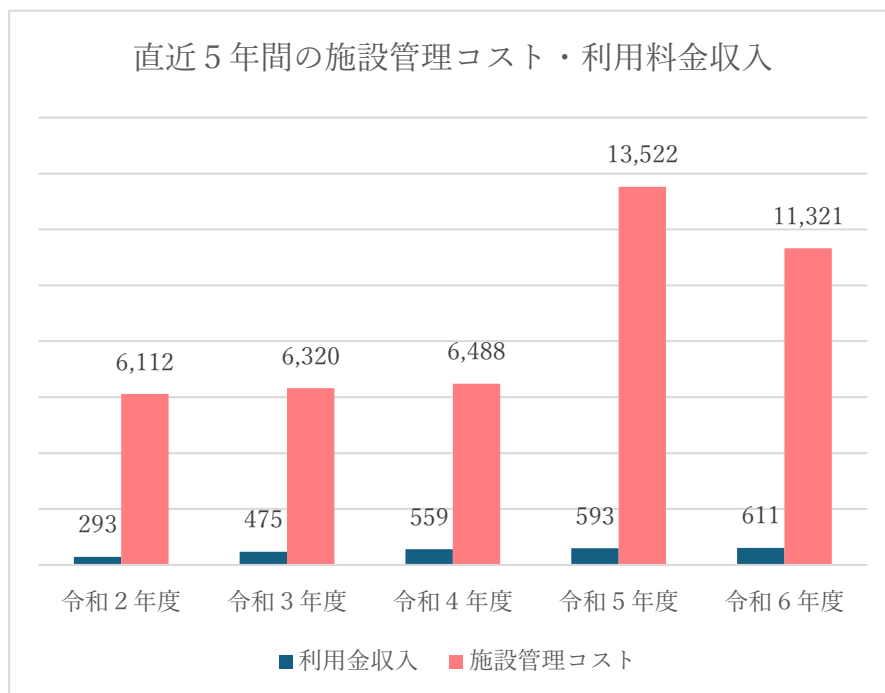
公共施設の維持管理には、光熱水費や人件費、修繕費、設備更新費などの費用がかかりますが、全てを税金だけで賄うことは難しいため、条例で施設利用料金などを定めています。

しかしながら、社会情勢の変化に合わせた施設利用料金の見直しがされてこなかったことがあり、受益者負担の適正化を図るため、施設利用料金の改定を検討しています。

このことについて、利用者の皆様から幅広いご意見を収集するため、アンケートを実施いたします。

1 施設管理コスト等の推移（直近5年）

曾我みのり館の直近5年間の施設管理コスト等は次のとおりです。



<歳出の主な要因>
 ○令和5年度
 空調機更新工事（6,679千円）を含む。
 ○令和6年度
 照明器具LED化（3,970千円）を含む。

※施設管理コスト等の推移は指定管理者の収支（指定管理委託料を除く）及び市が費用を負担する工事・修繕費を含みます。

（単位：千円）

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設管理コスト	6,112	6,320	6,488	13,522	11,321
利用料金収入	293	475	559	593	611

2 施設利用料金の推移

曾我みのり館の施設利用料金の推移は次のとおりです。

(単位：円)

		平成11年4月から 平成26年3月まで	平成26年4月から 令和元年9月まで	令和元年10月から 現在まで
ホールA室	午前	700	720	730
	午後	950	970	980
	夜間	800	820	830
ホールB室	午前	450	460	460
	午後	600	610	620
	夜間	550	560	570
A・B室同時利用	午前	1,150	1,180	1,190
	午後	1,550	1,590	1,600
	夜間	1,350	1,380	1,400
会議室	午前	350	360	360
	午後	450	460	460
	夜間	400	410	410
調理実習室	午前	250	250	250
	午後	350	360	360
	夜間	300	300	300

アンケート回答用
2次元バーコード

お問い合わせ先

小田原市経済部農政課

住所 小田原市荻窪 300 番地

電話番号 0465-33-1494

FAX 0465-33-1286

曾我みのり館 利用料金に関するアンケート

設問1 あなたについてお伺いします。

1. 市内の団体（構成員の半数以上が市内在住、在勤または在学）
2. 市外の団体
3. 個人（市内在住）
4. 個人（市外在住）

設問2 ※設問1で「1.市内の団体」または「2.市外の団体」と回答された方にお伺いします。

あなたはどのような団体で当施設を利用していますか？

1. サークル活動団体
2. 非営利団体
3. 営利団体
4. その他（ ）

設問3 ※設問1で「3.個人（市内在住）」または「4.個人（市外在住）」と回答された方にお伺いします。

あなたの年代について教えてください。

1. ～20代
2. 30～40代
3. 50～60代
4. 70代～

設問4 現在、曾我みのり館をどのくらいの頻度で利用していますか？

1. 毎週利用している
2. 月に1～3回利用している
3. 年に数回利用している
4. 初めて利用した

設問5 利用目的について教えてください。（複数回答可）

1. 会議・会合
2. スポーツ
3. 健康増進
4. レクリエーション
5. 学習
6. イベント参加
7. その他（ ）

設問6 曾我みのり館で提供されるサービスについて、あなたの考えに近いものを選択してください。

1. 満足
2. やや満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満

設問7 曾我みのり館の現在の料金設定について、あなたの考えに近いものを選択してください。

1. とても安い
2. 安い
3. 適正
4. 高い
5. とても高い

設問8 利用料金の値上げについて、あなたの考えに近いものを選択してください。

1. 反対
2. 賛成
3. わからない（どちらとも言えない）

設問9 ※設問8で「2.賛成」と回答された方にお伺いします。

(1) そのように感じる理由について教えてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 施設管理コストが増加している | 2. 施設の修繕や設備の更新が必要である |
| 3. 物価が上昇している | 4. 類似施設と比較して安いため |
| 5. その他 (|) |

(2) 利用料金を値上げする場合、必要な対応は何だと思えますか？(複数回答可)

- | | | |
|-------------|---------------------|---|
| 1. 値上げ率を抑える | 2. 施設の利用環境を向上・改善させる | |
| 3. 周知期間を設ける | 4. その他 (|) |

(3) 利用料金を値上げする場合、値上げ率はどの程度なら許容できますか？

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 現行料金の10%以内 | 2. 現行料金の20%以内 | 3. 現行料金の30%以内 |
| 4. 現行料金の40%以内 | 5. 現行料金の50%以内 | 6. 現行料金の50%超 |

設問10 利用料金を値上げした場合、施設の利用頻度はどのように変わりますか？

- | | | |
|--------------|------------------|---|
| 1. 今までと変わらない | 2. 利用頻度を減らして利用する | |
| 3. 今後利用しない | 4. その他 (|) |

設問11 曾我みのり館の利用料金を値上げする場合、ご意見などありましたら教えてください。

(記述欄)

設問12 曾我みのり館のサービスなどに関して、こうして欲しい・こうなったら良いと思うことがありましたら教えてください。

(記述欄)

アンケートへご協力いただき、ありがとうございました

水産市場再整備基本構想の進捗状況について

1 水産市場関係者等との検討状況

水産市場再整備基本構想の策定に向け、生産者や買受人、卸売業者等の関係者、さらには専門家、地元自治会等により、次のとおり検討を行った。

令和7年 (2025年)	検討組織等	主な検討内容等
4月	基本構想検討会議	・ 検討組織と役割について ・ 今後の進め方について
6月	ワークショップ① (4回)	・ 目指すべき姿及びコンセプトについて ・ 漁港における衛生管理について
8月	ワークショップ② (7回)	・ 運営イメージについて ・ 施設規模・施設配置イメージについて
	基本構想検討会議	・ 目指すべき姿及びコンセプトについて ・ 施設規模・施設配置イメージについて
11月	卸売市場審議会 水産部会	・ 水産市場再整備基本構想について

2 新市場の目指すべき姿及びコンセプト

(1) 目指すべき姿

「地域が潤い、豊かになる、にぎわい水産市場」

(2) コンセプト (5つの柱)

ア 賑わいある生産・消費の拠点市場

- ・ 生産者にとって魅力ある市場
- ・ 卸・仲卸の経営効率化
- ・ 集荷・販売力の強化
- ・ 競争を勝ち抜くブランド力を有する生産市場

- イ 安全・安心な水産物の供給市場
 - ・物品の品質管理の高度化
 - ・物品の衛生管理の高度化
 - ・消費者にとって安心できる市場づくり
- ウ 適正な市場取引と経営の近代化した市場
 - ・需要と供給を反映した適正な価格形成
 - ・生産者と消費者を結ぶ市場づくり
- エ 未来に向かって持続可能な市場
 - ・市場の長寿命化対策（老朽化・耐震化対策）
 - ・受益者負担・利用者負担による市場使用料の適正化
 - ・市場施設の有効活用による歳入確保
 - ・環境問題への対応
 - ・近隣地域の住環境への配慮
- オ コンパクトで効率の良い市場
 - ・売り場面積を最小化しレイアウトの自由度が高い空間づくり
 - ・取引のICT化や効率の良い作業動線の確保

3 施設規模・施設配置イメージ

(1) 施設規模

階 数	最小面積	最大面積
1 階	4,218 m ²	4,712 m ²
(その内、売場)	(2,000 m ²)	(2,600 m ²)
2 階	336 m ²	336 m ²
3 階	336 m ²	336 m ²
延床面積合計	4,890 m ²	5,384 m ²

(2) 施設配置イメージ：参考資料 2 - 1 参照

4 基本構想策定に向けた課題

(1) 建設費（概算）の高騰

	令和4年度 単価ベース	令和7年度 単価ベース	上昇率
建設費(概算)※	約32～34億円	約38～40億円	約18%

※本体工事費、解体工事費、設計費等

(2) 市場使用料の上昇

建設費の高騰に伴い、市場利用者が負担する市場使用料は大幅な上昇が見込まれる。

また、使用料の上昇に伴い、本市水産市場に荷が集まらなくなり、市民の魚食に影響を与える可能性がある。

5 今後の進め方

建設費の高騰は、地元水揚品（地魚）の陸揚機能を活用した産地市場としての強みが薄れ、他産地との価格競争において不利となる要因となることから、次のとおり、サウンディング型市場調査を実施して、建設費低減及び市場利用者の負担軽減の可能性を探っていく。

(1) サウンディング型市場調査の実施

再整備後の市場施設の想定規模や将来像等の前提条件を提示しながら対話を行い、民間事業者の専門的な知見や技術に基づく創意工夫やアイデア等を収集することを目的とする。

<求めるアイデア等>

ア 目指すべき姿を実現するための事業アイデア全般

イ 「持続可能な市場運営」を目指し、建設費の低減や管理運営経費を最小化・適正化するための事業手法などアイデア

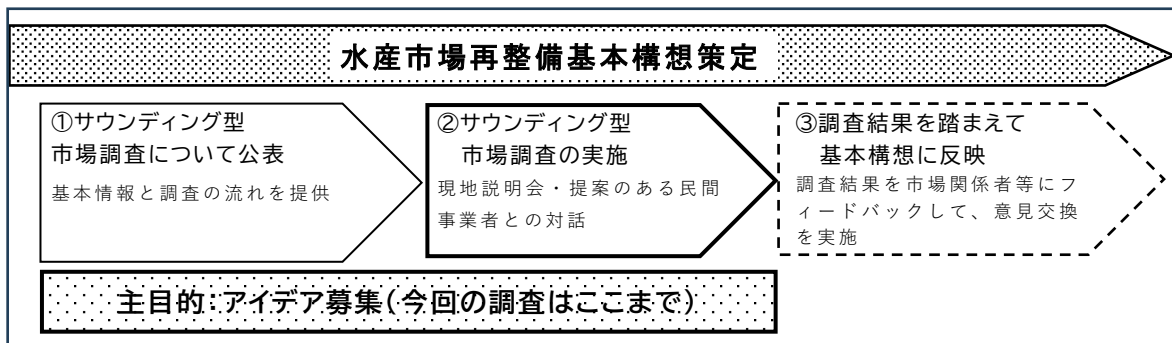
ウ 市場運営を継続しながら現在地で建替えを行うための技術的なアイデア

(2) サウンディング型市場調査の対象者

市内事業者（市場関係者、建設業・ビルメンテナンス業等の事業者）

(3) サウンディング型市場調査のスケジュール(案)

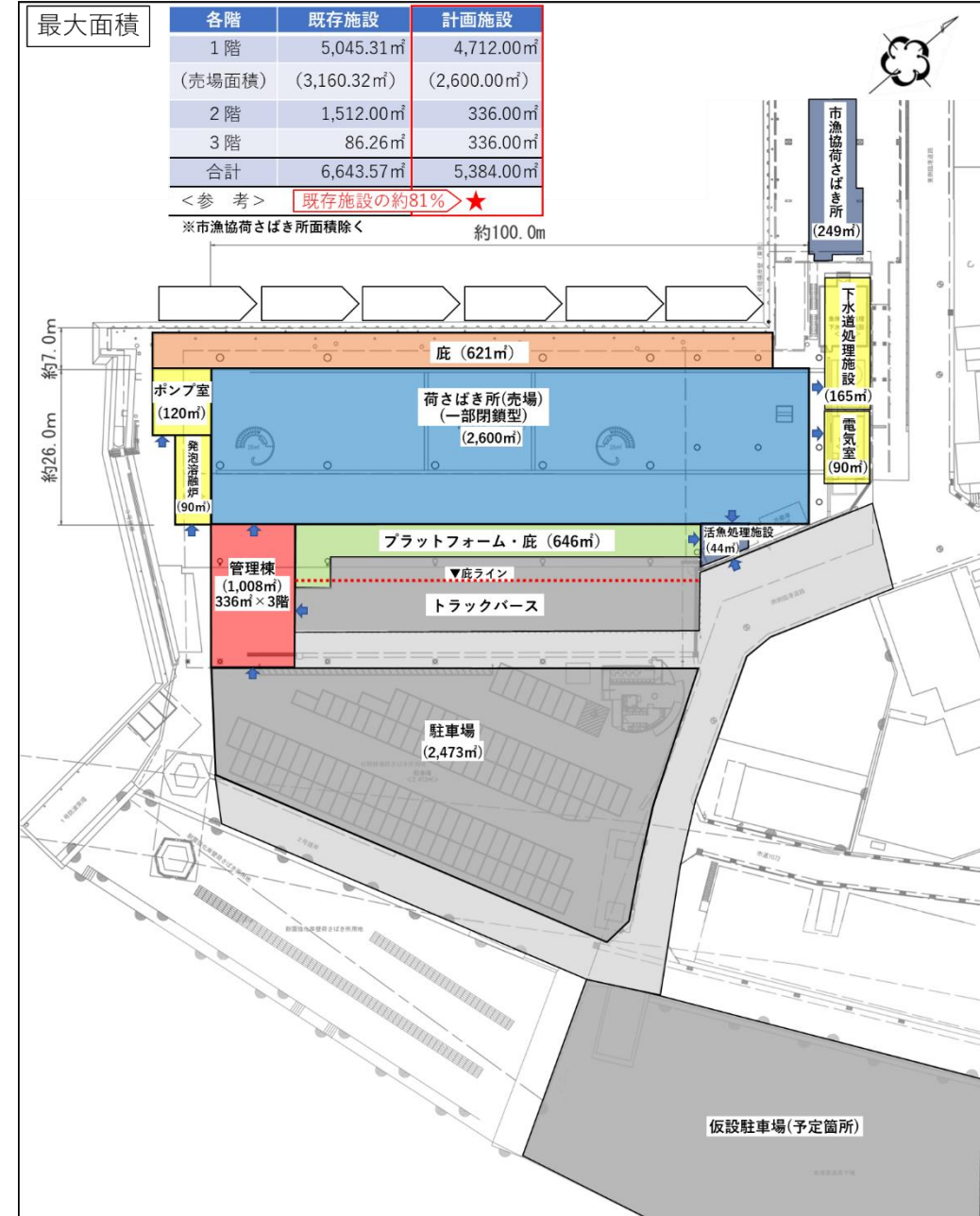
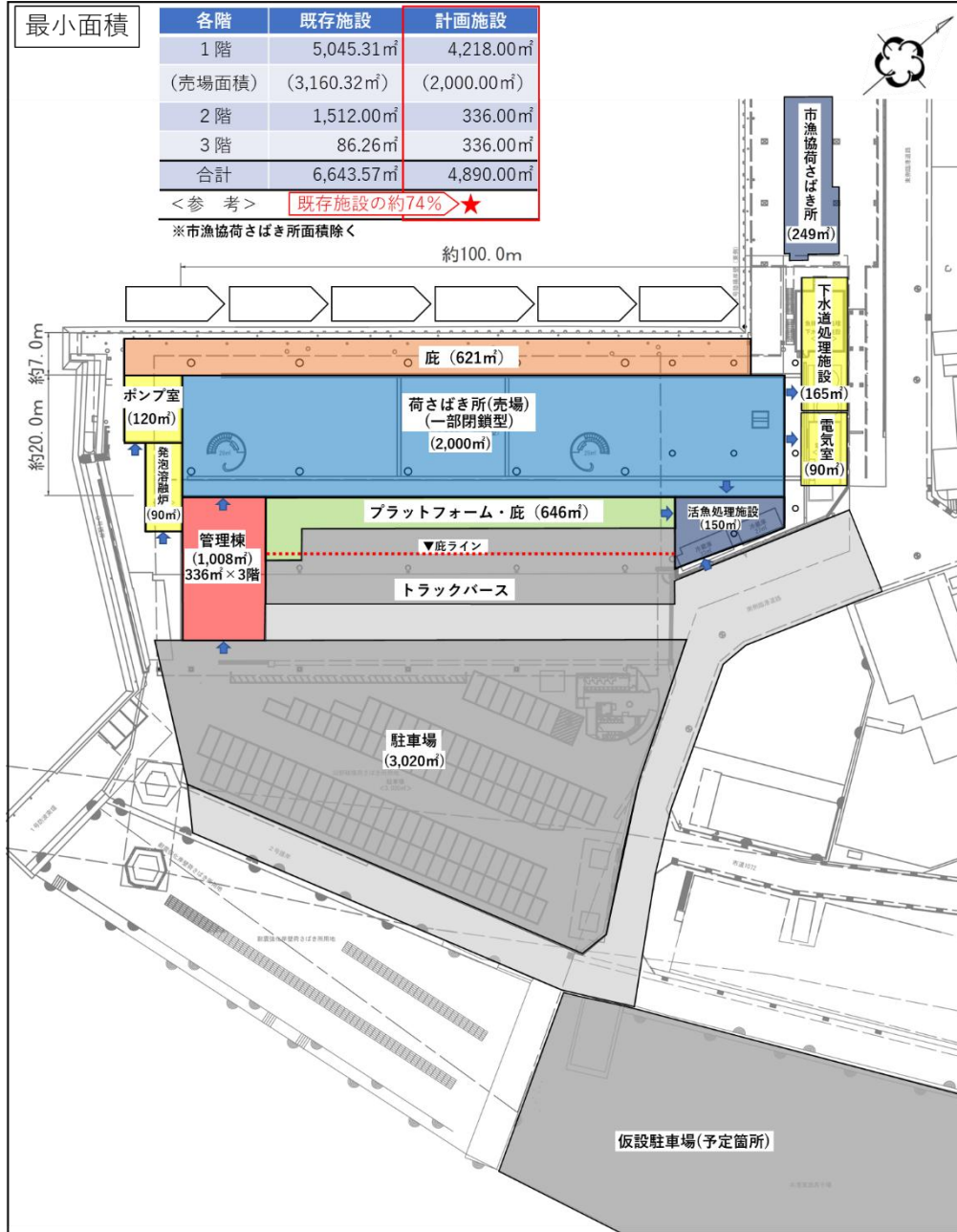
内容	時期
調査実施公表	令和7年（2025年）12月10日（水）
現地説明会の開催	令和7年（2025年）12月19日（金） から 令和8年（2026年）1月16日（金） まで
対話参加申し込み	令和8年（2026年）1月9日（金） から 令和8年（2026年）1月30日（金） まで
対話の実施	令和8年（2026年）2月2日（月） から 令和8年（2026年）2月27日（金） まで
調査結果とりまとめ	令和8年（2026年）3月中旬まで
調査結果概要の公表	令和8年（2026年）4月中旬頃



6 基本構想の策定期期

令和8年（2026年）3月末を予定していた基本構想の策定期期については、サウンディング型市場調査の結果を反映させることから、令和8年度中頃までとする。

施設規模及び施設配置イメージ



城址公園のこども遊園地の在り方に関する検討状況について

1 城址公園のこども遊園地の在り方に関する懇談会

(1) 設置目的

こども遊園地の在り方を検討するにあたり、観光行政や城址公園内の施設の運営に携わる者等と意見交換を行うため。

(2) 構成員（敬称略）

氏名	所属等
原川 博明	(一社)小田原市観光協会 (小田原城天守閣等指定管理者)
岩崎 一也	(一財)小田原市事業協会 (こども遊園地管理業務受託事業者)
勝俣 宏一	NPO法人小田原ガイド協会
久保内 顕	神奈川県県西地域県政総合センター 企画調整部
杉崎 恵理子	小田原市経済部 観光課
鈴木 雅樹	小田原市経済部 小田原城総合管理事務所
小林 隆	小田原市文化部 文化財課

(3) 開催状況

- ・ 第1回（令和7年（2025年）8月20日）

城址公園のこども遊園地の現状と課題等

- ・ 第2回（令和7年11月12日）

第1回懇談会における主な意見と在り方を考える視点について

(4) こども遊園地の在り方を考える視点

ア 家族で楽しめる城址公園

こどもを中心に家族で遊べる場所や施設があることを期待している。

イ 市民等のこども遊園地への思い

利用しやすい環境などから、市民等に親しまれているため、こども遊園地の現状等について市民の理解を得る。

ウ 観光振興

「懐かしさ」も商品力になることから、小田原城の歴史や魅力を伝えるにはガイドの役割が大切である。

エ 史跡小田原城跡の整備との整合

史跡の本質的価値の顕在化を進めており、史跡小田原城跡保存活用計画では「遊具の寿命を見据え、段階的に撤去を検討する」としている。

オ 遊器具の維持管理等

屏風岩西堀法面の復旧までの間、老朽化が進み、遊器具の交換部品の調達や豆汽車の軌道敷の全面改修を要することが課題である。

カ 遊器具の利用状況と財源の確保

観覧車や飛行塔などの撤去や少子化、こどもを取り巻く環境の変化などから、遊器具の利用回数は減少傾向にある。また、こども遊園地の収支は厳しく、財源確保が課題である。

(5) 今後の開催予定

令和8年度（2026年度）に2回の開催を予定。

2 今後の検討の方向性

城址公園のこども遊園地については、現在、必要かつ最低限の維持管理を行っているが、屏風岩西堀法面復旧工事の完了は、令和9年度（2027年度）中になる予定である。

今後、復旧工事の進捗を考慮しつつ、懇談会での意見等を参考に検討を行い、在り方についての結論を導き出していく。